



2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東
 コード番号 4023 URL <https://www.kureha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 鶴谷 一成 (TEL) 03-3249-4651
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	101,755	28.7	16,737	47.3	17,377	51.8	12,278	46.1	12,190	46.4	16,389	59.4
2022年3月期第2四半期	79,069	19.7	11,364	84.0	11,450	79.2	8,405	74.8	8,328	73.0	10,284	28.0
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2023年3月期第2四半期	624.60				623.63							
2022年3月期第2四半期	426.73				426.16							

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	295,788	214,640	213,116	72.1
2022年3月期	282,639	200,724	199,219	70.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	85.00	—	125.00	210.00
2023年3月期	—	125.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	125.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	12.9	27,000	34.0	28,000	37.3	20,000	41.2	1,024.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	20,805,407株	2022年3月期	20,805,407株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,287,888株	2022年3月期	1,288,121株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	19,517,642株	2022年3月期2Q	19,517,659株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、持ち直しの動きが継続しております。経済社会活動の正常化が進み、景気が持ち直していくことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響やそれに伴う急激な円安進行、原燃料価格の高騰、半導体の不足、ウクライナ情勢の長期化による影響が懸念され、先行きが不透明な状況が依然続いております。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症に対し感染予防と感染リスク低減に努めて安定的に事業活動を継続しております。第1四半期初めには、同感染症の再流行に伴う中国でのロックダウンにより、機能製品事業の炭素製品分野の現地工場が一時稼働を停止しましたが、影響は軽微でした。また、原燃料価格の高騰による業績への悪影響はあるものの、顧客の理解を得ながら、製品価格への転嫁等の対策を進めております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間は、機能製品事業のリチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂を中心に売上げが伸張し、前年同期比で増収増益となりました。

売上収益は前年同期比28.7%増の1,017億55百万円、営業利益は前年同期比47.3%増の167億37百万円、税引前四半期利益は前年同期比51.8%増の173億77百万円、四半期利益は前年同期比46.1%増の122億78百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比46.4%増の121億90百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上収益			営業損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減	前第2四半期	当第2四半期	増減
機能製品事業	28,794	47,296	18,502	2,600	9,034	6,434
化学製品事業	12,804	17,524	4,719	1,168	1,617	448
樹脂製品事業	22,942	23,782	840	5,140	4,270	△869
建設関連事業	5,524	4,231	△1,292	414	265	△149
その他関連事業	9,003	8,920	△83	1,799	1,387	△411
セグメント合計	79,069	101,755	22,686	11,123	16,575	5,452
調整額(注)	—	—	—	241	161	△79
連結合計	79,069	101,755	22,686	11,364	16,737	5,372

(注) 営業損益の調整額には、報告セグメントに配分していないその他の収支が含まれております。詳細は、「(4)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載しております。

① 機能製品事業

機能樹脂分野では、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品、その他の樹脂加工品等の売上げが増加したことから、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

炭素製品分野では、高温炉用断熱材向けの炭素繊維の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比64.3%増の472億96百万円となり、営業利益は前年同期比247.4%増の90億34百万円となりました。

② 化学製品事業

農薬・医薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは減少したものの、農業・園芸用殺菌剤の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

工業薬品分野では、無機および有機薬品類の売上げが増加しましたが、原燃料価格高騰の影響により、前年同期の営業利益から営業損失となりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比36.9%増の175億24百万円となり、営業利益は前年同期比38.4%増の16億17百万円となりました。

③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、フッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは増加したものの、家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上げが減少したことおよび原燃料価格高騰の影響により、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

業務用食品包装材分野では、熱収縮多層フィルムおよび塩化ビニリデン・フィルムの売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比3.7%増の237億82百万円となり、営業利益は前年同期比16.9%減の42億70百万円となりました。

④ 建設関連事業

建設事業では、公共工事は前年同期並みとなったものの民間工事の減少により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比23.4%減の42億31百万円となり、営業利益は前年同期比36.0%減の2億65百万円となりました。

⑤ その他関連事業

環境事業では、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理の減少により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

運送事業では、売上げ、営業利益はともに前年同期並みとなりました。

病院事業では、売上げ、営業利益はともに前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比0.9%減の89億20百万円となり、営業利益は前年同期比22.9%減の13億87百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第2四半期末の資産合計につきましては、前期末比131億48百万円増の2,957億88百万円となりました。流動資産は、棚卸資産ならびに営業債権及びその他の債権が増加したこと等により、前期末比95億58百万円増の1,219億76百万円となりました。非流動資産は、有形固定資産が増加したこと等により、前期末比35億90百万円増の1,738億11百万円となりました。

負債合計につきましては、前期末比7億67百万円減の811億47百万円となりました。これは、未払法人所得税等が増加した一方で、有利子負債が社債の償還等により前期末比21億24百万円減の263億82百万円となったこと等によるものです。

資本合計につきましては、前期末比139億15百万円増の2,146億40百万円となりました。これは、剰余金の配当を24億39百万円実施した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益を121億90百万円計上するとともに、為替市場での円安の影響によりその他の資本の構成要素が増加したこと等によるものです。

(3) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した数値を修正しております。詳細は、本日(2022年11月9日)発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	30,639	29,128
営業債権及びその他の債権	35,808	41,507
その他の金融資産	16	14
棚卸資産	41,698	46,771
その他の流動資産	4,255	4,554
流動資産合計	112,418	121,976
非流動資産		
有形固定資産	114,435	118,634
無形資産	4,041	4,449
持分法で会計処理されている投資	16,836	16,488
その他の金融資産	21,514	20,967
繰延税金資産	1,604	2,000
その他の非流動資産	11,787	11,271
非流動資産合計	170,221	173,811
資産合計	282,639	295,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	29,476	29,206
社債及び借入金	14,750	13,487
その他の金融負債	1,522	1,765
未払法人所得税等	2,287	4,525
引当金	6,893	6,589
その他の流動負債	7,671	7,223
流動負債合計	62,602	62,798
非流動負債		
社債及び借入金	11,428	9,192
その他の金融負債	2,028	3,157
繰延税金負債	2,269	2,402
引当金	1,342	1,309
退職給付に係る負債	316	330
その他の非流動負債	1,926	1,955
非流動負債合計	19,311	18,349
負債合計	81,914	81,147
資本		
資本金	18,169	18,169
資本剰余金	14,724	14,724
自己株式	△8,701	△8,700
利益剰余金	166,005	175,200
その他の資本の構成要素	9,020	13,722
親会社の所有者に帰属する持分合計	199,219	213,116
非支配持分	1,505	1,524
資本合計	200,724	214,640
負債及び資本合計	282,639	295,788

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	79,069	101,755
売上原価	55,967	70,506
売上総利益	23,101	31,249
販売費及び一般管理費	13,202	15,411
持分法による投資利益	1,235	711
その他の収益	468	543
その他の費用	236	355
営業利益	11,364	16,737
金融収益	240	772
金融費用	155	132
税引前四半期利益	11,450	17,377
法人所得税費用	3,045	5,098
四半期利益	8,405	12,278
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	8,328	12,190
非支配持分	76	87
四半期利益	8,405	12,278
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	426.73	624.60
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	426.16	623.63

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	8,405	12,278
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	718	△398
確定給付制度の再測定	524	△554
合計	1,243	△953
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	635	5,064
合計	635	5,064
税引後その他の包括利益	1,879	4,111
四半期包括利益	10,284	16,389
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	10,211	16,324
非支配持分	72	64
四半期包括利益	10,284	16,389

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2021年4月1日残高	18,169	14,897	△8,697	154,166	110	△3,161
四半期利益				8,328		
その他の包括利益						635
四半期包括利益合計	—	—	—	8,328	—	635
自己株式の取得			△1			
株式報酬取引					15	
配当金				△1,659		
非支配持分との資本取引		△172				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				525		
所有者との取引額合計	—	△172	△1	△1,133	15	—
2021年9月30日残高	18,169	14,724	△8,698	161,362	125	△2,525

	親会社の所有者に帰属する持分			その他の資本の構成要素		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	8,345	—	5,294	183,830	1,690	185,521
四半期利益			—	8,328	76	8,405
その他の包括利益	722	524	1,882	1,882	△3	1,879
四半期包括利益合計	722	524	1,882	10,211	72	10,284
自己株式の取得			—	△1		△1
株式報酬取引			15	15		15
配当金			—	△1,659	△62	△1,721
非支配持分との資本取引	1		1	△171	△228	△399
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△1	△524	△525	—		—
所有者との取引額合計	0	△524	△508	△1,816	△290	△2,107
2021年9月30日残高	9,068	—	6,668	192,226	1,472	193,698

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	18,169	14,724	△8,701	166,005	141	1,373
四半期利益				12,190		
その他の包括利益						5,064
四半期包括利益合計	—	—	—	12,190	—	5,064
自己株式の取得			△3			
株式報酬取引			4	△1	13	
配当金				△2,439		
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△554		
所有者との取引額合計	—	—	0	△2,995	13	—
2022年9月30日残高	18,169	14,724	△8,700	175,200	155	6,438

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計				
2022年4月1日残高	7,504	—	9,020	199,219	1,505	200,724	
四半期利益			—	12,190	87	12,278	
その他の包括利益	△375	△554	4,134	4,134	△22	4,111	
四半期包括利益合計	△375	△554	4,134	16,324	64	16,389	
自己株式の取得			—	△3		△3	
株式報酬取引			13	16		16	
配当金			—	△2,439	△46	△2,486	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		554	554	—		—	
所有者との取引額合計	—	554	568	△2,427	△46	△2,473	
2022年9月30日残高	7,128	—	13,722	213,116	1,524	214,640	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりです。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	PPS樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、PGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品 炭素繊維、球状活性炭
化学製品事業	農業・園芸用殺菌剤、慢性腎不全用剤、か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	産業廃棄物の処理および環境関連処理設備、理化学分析・測定・試験および検査業務 運送および倉庫業務、医療サービス

(2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一です。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	28,794	12,804	22,942	5,524	9,003	79,069	—	79,069
セグメント間の 内部売上収益	406	98	100	2,808	3,299	6,713	△6,713	—
計	29,201	12,902	23,042	8,332	12,303	85,783	△6,713	79,069
営業利益	2,600	1,168	5,140	414	1,799	11,123	241	11,364
金融収益								240
金融費用(△)								△155
税引前四半期利益								11,450

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による利益10百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益468百万円およびその他の費用△236百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	47,296	17,524	23,782	4,231	8,920	101,755	—	101,755
セグメント間の 内部売上収益	816	99	176	3,650	3,300	8,043	△8,043	—
計	48,113	17,623	23,958	7,882	12,220	109,798	△8,043	101,755
営業利益	9,034	1,617	4,270	265	1,387	16,575	161	16,737
金融収益								772
金融費用(△)								△132
税引前四半期利益								17,377

(注) 営業利益の調整額にはセグメント間取引消去等による損失△26百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益543百万円およびその他の費用△355百万円が含まれております。